

フーバーブレイン 2Q決算報告

(2026年3月期)

<https://www.fuva-brain.co.jp/>



株式会社フーバーブレイン

2025年11月14日

1

当社事業概要

2

2026年3月期第2四半期決算報告 並びに2026年3月期業績計画

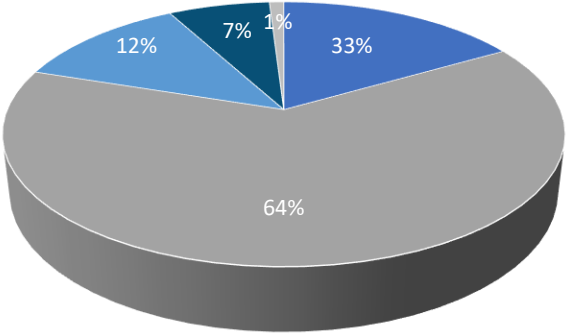
会社概要

商号	株式会社フーバーブレイン（東証GRT:3927）Fuva Brain Limited		
設立	2001年5月8日		
事業内容	サイバーセキュリティソリューションの提供, 働き方改革・テレワーク環境構築 IT人材サービス, 投資事業		
本社所在地	東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート22F		
資本金	796百万円（株主数 3,493名）発行株式数5,604,200株（自己株式259,807株）（2025年3月31日現在）		
決算期	3月31日		
従業員数	256名（外、臨時雇用12名）（2025年3月31日現在）		
役員	代表取締役社長 輿水 英行 専務取締役 板橋 啓成 社外取締役 酒井 学雄 社外監査役（常勤） 日景 智久 取締役 錦織 劉一 社外取締役 上村 卓也 監査役（非常勤） 香取 正康 社外監査役（非常勤） 金子 望美		
グループ企業	8社（2025年3月31日現在）		



代表取締役社長 輿水 英行
1967年3月14日生

2025/3末株主構成(%)
株主数：3,333名



- 国内一般法人
- 個人
- 金融機関

1989年4月 西洋環境開発入社
1993年10月 アーサーアンダーセン会計事務所入所
1997年11月 カーギルジャパン入社
2008年12月 フォンテス代表取締役（現任）
2012年5月 いずみキャピタル代表取締役（現任）
2014年5月 パルマ社外監査役（現任）
2018年6月 当社取締役副社長
2018年10月 当社代表取締役社長（現任）

Mission

デジタルテクノロジーで、
社会に安心を、企業に成長を、人々に幸せな働き方を。

Vision

安心・安全で、一人ひとりが笑顔で働けるデジタルプラットフォームを構築する。
デジタル社会への変革を加速する人材を確保、育成し、
創造性を生かせる環境を提供する。

フーバーブレインの過去からの沿革と業績推移

- 2018/6月：興水社長就任

⇒ リスクをとって新規領域に挑む **チャレンジング文化を醸成**
既存セキュリティ事業に加えIT人材サービスと投資事業開始
セキュリティ製品では「Eye“247” Work Smart Cloud」販売開始

- 2020/4月：イスラエルのCatoとディストリビューター契約

⇒ 世界初のSASEプラットフォーム

- 2021/4月：人材サービス企業のM&A本格化

⇒ 2021：GHインテグレーション社を子会社化

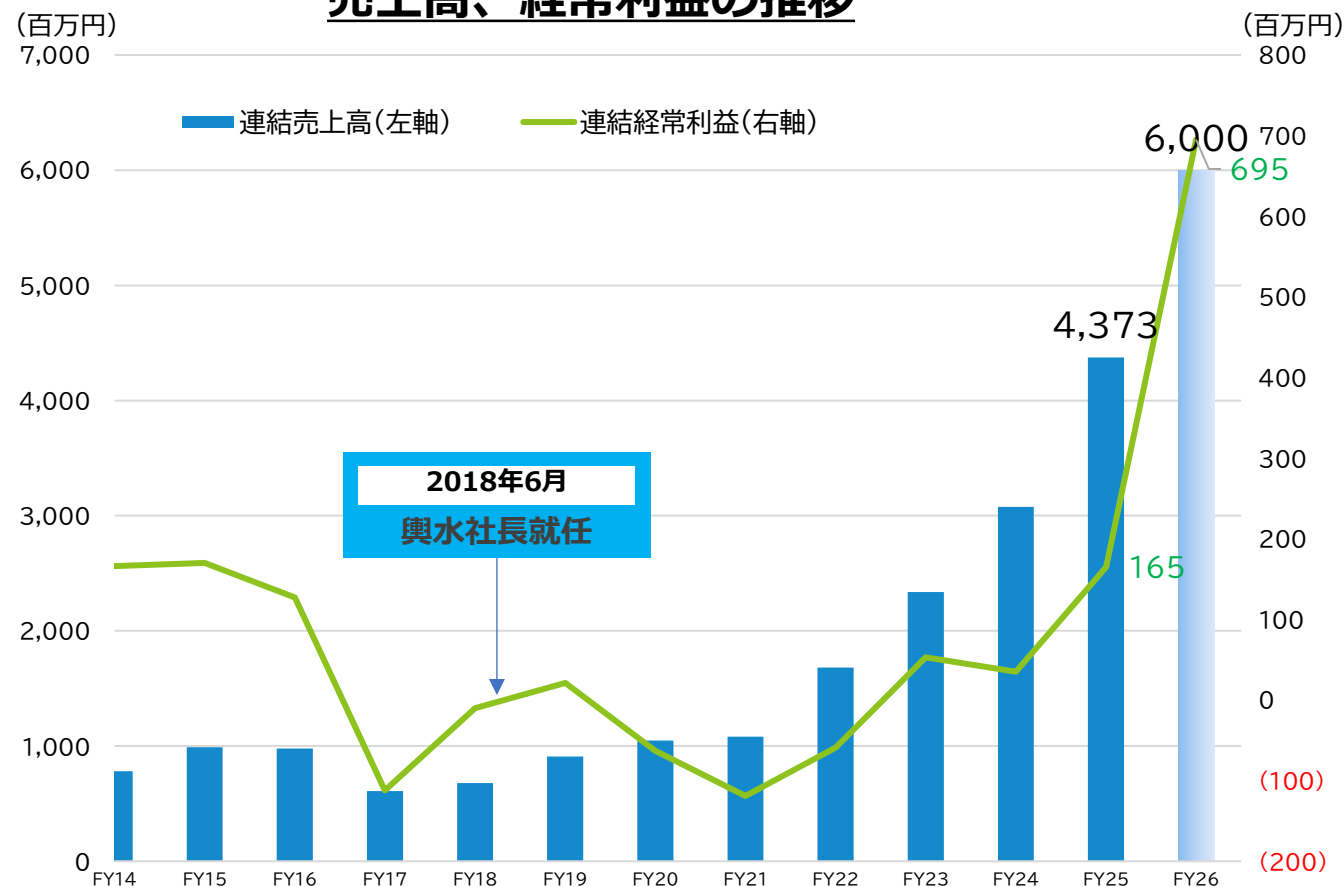
2022：アドトップ社を子会社化

2024：CONVICTION社とAsemble社（旧ARPEGGIO社）、
イチアール社を子会社化

- 2023/7月：投資事業のCVC子会社設立

⇒ フーバー・インベストメント設立

売上高、経常利益の推移



*26/3期は調整後売上高、調整後経常利益（有価証券売却益385百万円含む）

事業領域

- ITツール事業のオーガニック成長とITサービスのM&A成長、投資事業の成長で継続的な企業価値拡大

セグメント領域		
ITツール事業	ITサービス事業	投資事業
フーバーブレイン ● セキュリティ製品（ハード・ソフト） NBB(Network Blackbox) ● セキュリティ & ネットワークaaS製品） Cato SASE Cloud ● 働き方改革製品（SaaS型）	フーバーブレイン、GHインテグレーション、CONVICTION,Asemble,イチアール,アド・トップ ● 保守・役務提供 ● 受託開発、SES ● 採用支援、人材紹介・派遣	フーバー・インベストメント ● 投資事業

セキュリティ製品
新商材
NETWORK
BLACKBOX

セキュリティ製品
Eye 24/7
Safety Zone

働き方改革製品
Eye 24/7
Work Smart

セキュリティ & ネットワークaaS
製品
CATO
NETWORKS

NETWORK
BLACKBOX
Network Detection and Response

インフラエンジニア				
システムエンジニア				
フリーランス				
	採用	教育	営業	運営



DIGITAL GRID

2025年4月 東証GRTにIPO
時価総額312億円（11/13日現在）
当社3.5%保有

事業内容

ITツール事業

セキュリティツール

自社開発のエンドポイントソフトをはじめ、ネットワークアプリケーションの提供を含めた、ユーザー企業の情報セキュリティ対策を支援。



働き方改革ツール

自社開発の情報機器業務ログ監視・分析技術による業務可視化・働き方分析ソリューションを提供。ユーザー企業のテレワーク環境の構築及び働き方改革を支援。



ITサービス事業

保守・役務提供

セキュリティツール及び働き方改革ツール提供に伴う導入・運用支援役務及び保守サポートの提供

受託開発・SES

パートナー企業からの開発委託案件の対応及びパートナーSIerと協業して、大手通信事業者等へのITエンジニア人材提供



採用支援・人材紹介

採用コンサルティング及び人材紹介を通じて企業の採用を支援。



投資事業

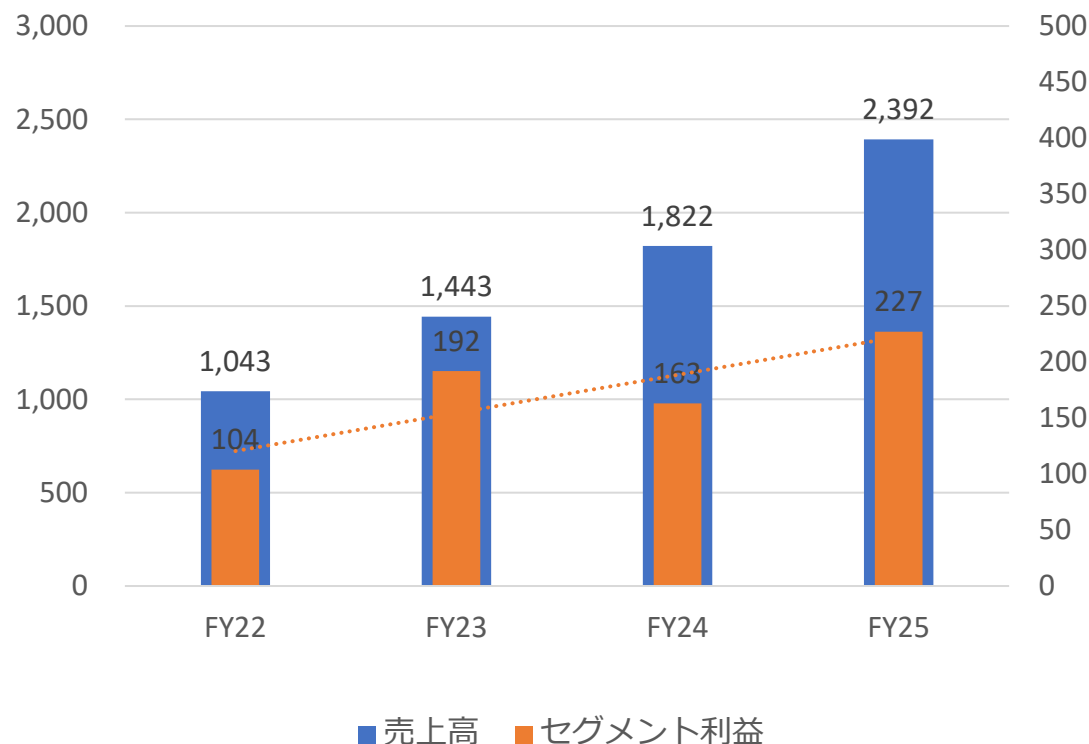
ベンチャー企業向け企業投資



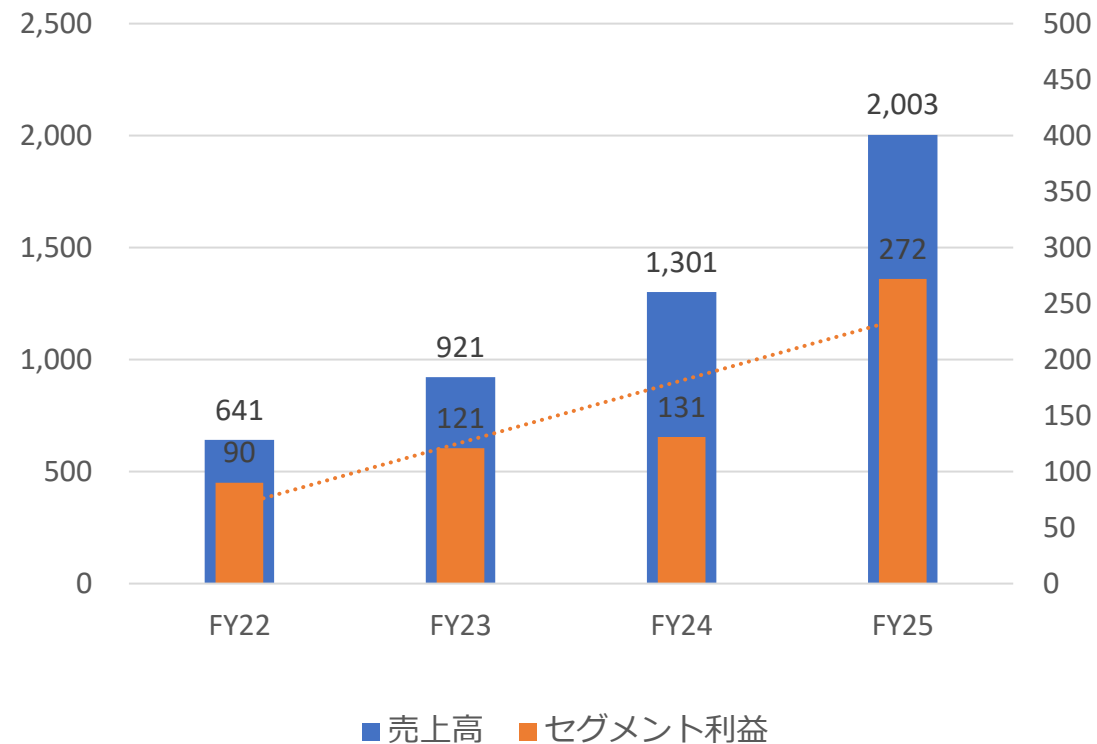
セグメント別営業利益

- 前期実績：ITツール事業 売上高2,392百万円 営業利益227百万円（利益率9.5%）
ITサービス事業 売上高2,003百万円 営業利益272百万円（利益率13.6%）

ITツール事業



ITサービス事業

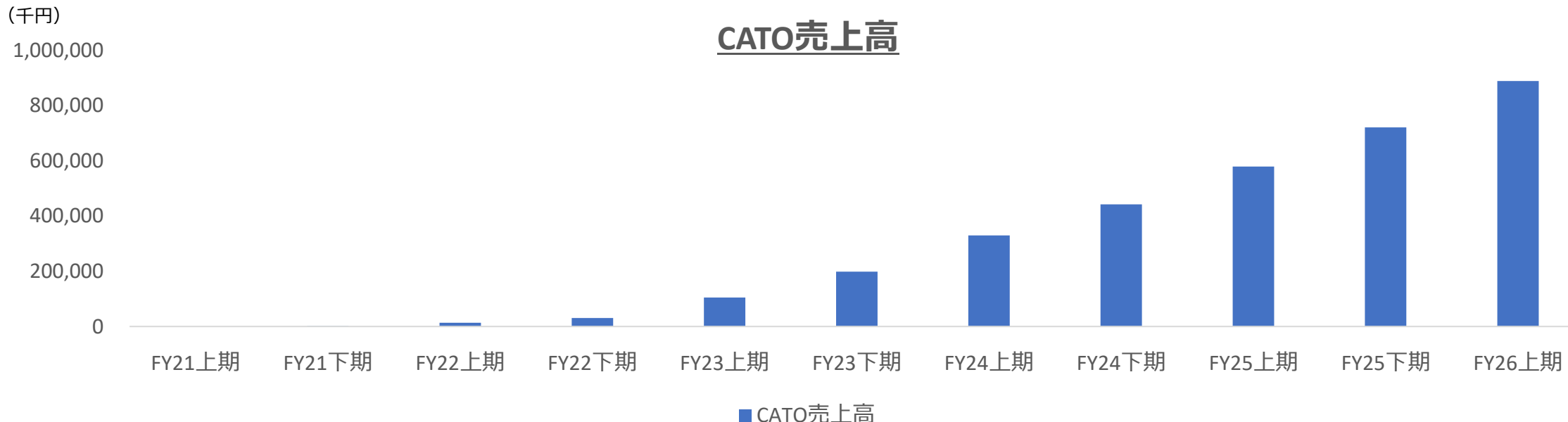


セキュリティ & ネットワークaaS製品：Cato

- Catoは、イスラエルの SASEのリーダーCato Networksの製品で、2024年の年間経常収益（ARR）が2.5億ドルを超え、前年比46%の増益。グローバル企業約3,000社にネットワークとセキュリティの変革のためにCato SASE Cloud Platformを提供。
- 2020/4月：当社はイスラエルのCATOとディストリビューター契約締結
⇒ CTC（伊藤忠テクノロジー）、scsk等のリセラーパートナーにより
大手企業中心に販売拡大

CATO
NETWORKS

<https://www.catonetworks.com/>



セキュリティ & ネットワークaaS製品：Cato（2）

- Catoは、1年契約の更新が基本ですが、クライアント企業の中には初期導入開発もあり5年～6年の長期契約のケースも有り。その際には当社のB/S勘定に長短前払費用（資産）と長短前受金（負債）を計上

※Cato以外含む

単位:百万円	24年3月末	25年3月末
流動資産	2,584	3,326
うち前払費用	720	1,012
固定資産	1,767	2,277
うち長期前払費用	1,181	1,315
総資産	4,352	5,604

Cato長期契約に伴う仕入れ費用
流動資産分は次期仕入計上予定

単位:百万円	24年3月末	25年3月末
流動負債	1,320	1,830
うち前受金	929	1,210
固定負債	1,656	2,043
うち長期前受金	1,517	1,632
純資産	1,375	1,729
負債純資産合計	4,352	5,604

Cato長期契約に伴う将来売上
流動負債分は次期売上計上予定

Catoに続くネットワークセキュリティ製品：NBB

- ネットワーク内のサイバーセキュリティリスクを検知して対応するNBB（Network Blackbox）製品投入



ネットワーク上の
あらゆるサイバーセキュリティリスクを検知して対応する
次世代ネットワークソリューション
フルパケットキャップチャリング方式で、
全パケットを100%保存し、漏れなく分析

【海外導入事例】

- － 大手製造業でのスマート工場化 －
顧客目的：セキュリティ対策が万全なスマート工場の実現
- － 大手金融機関 セキュリティ強化 －
顧客目的：脅威検知・対応のためのセキュリティ体制強化

ITサービス事業

- フーバブレインの保守・役務提供の既存事業にIT人材企業をM&Aにて子会社化
- IT人材事業の拡大M&A方針として、採用～教育～営業（マーケティング）～運営まで一貫サービスへ



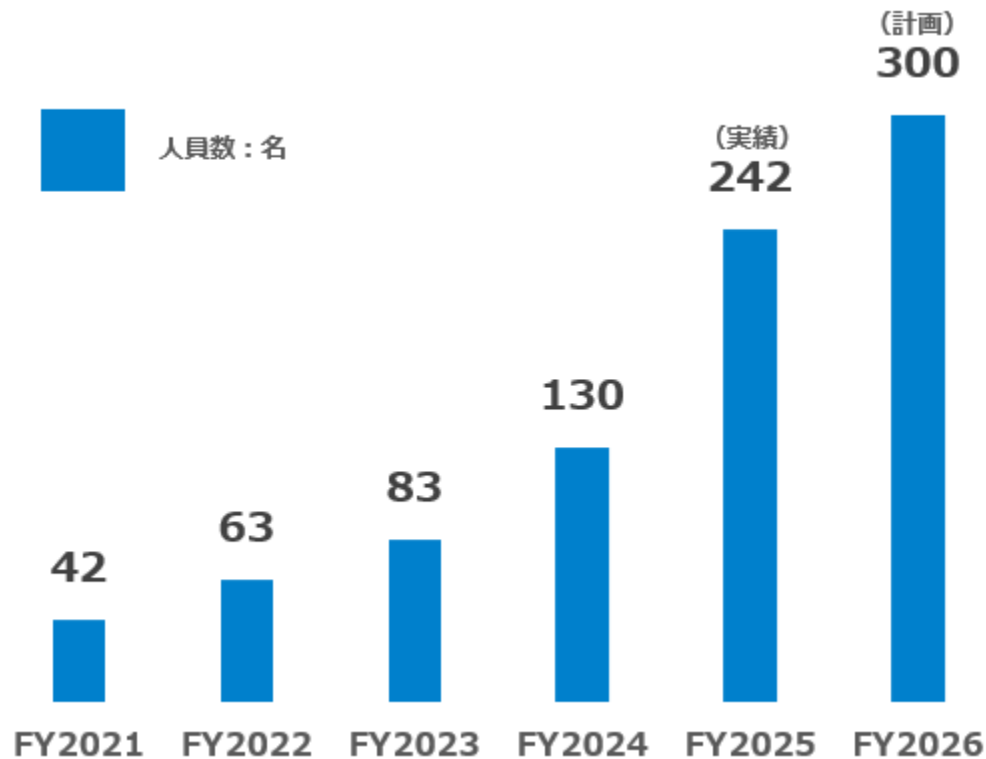
継続的な

M&A



ITエンジニアサービスの成長実現

- 2021年4月GHインテグレーション（IT人材の派遣及び委託業務）を子会社化、2022年11月アド・トップ社（人材採用コンサルティング）を子会社化、2024年2月CONVICTION社（システムエンジニアリングサービス）を子会社化、
- 2025年3月期のAsemble及びイチアールの子会社化により、グループIT人材は242名に拡大。IT人材サービス会社4社で、人材・案件情報の統合によるシナジー最大化を狙う。



2026年3月期 2Q決算報告 並びに通期業績計画

Financial Results for the 1H of FY2026
and
FY2026 Performance Forecast

2026年3月期 2Q 決算総括

- 売上高、営業利益は子会社フーバー・インベストメントの投資事業における有価証券売却益385百万円（会計上は特別利益計上）を調整後売上高、調整後営業利益として実態面の数値計上としている
- コア事業のITツールは前期比+29.1%増収、ITサービス事業もM&Aによる子会社2社の連結貢献もあり、前期比で64.8%の大幅増収、投資事業もデジタルグリッドIPOに伴う有価証券売却益を計上

調整後売上高

3,107百万円
(前期比+65.4%)

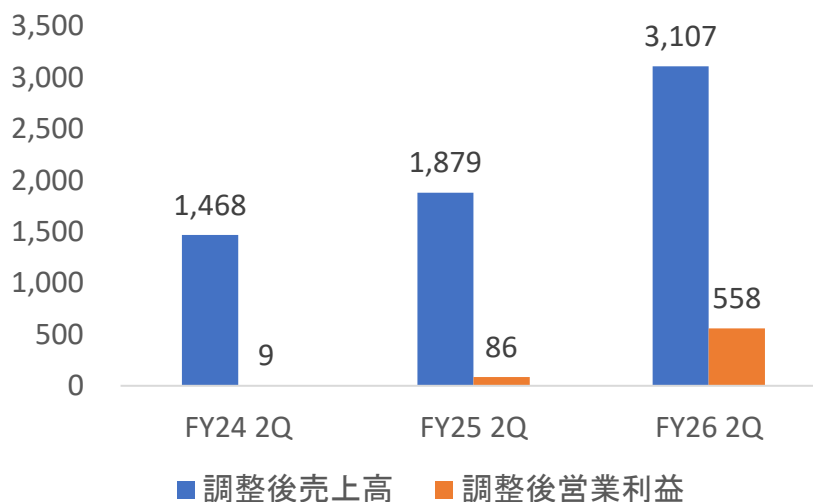
調整後営業利益

558百万円
(前期比+548.4%)

2Q当期純利益

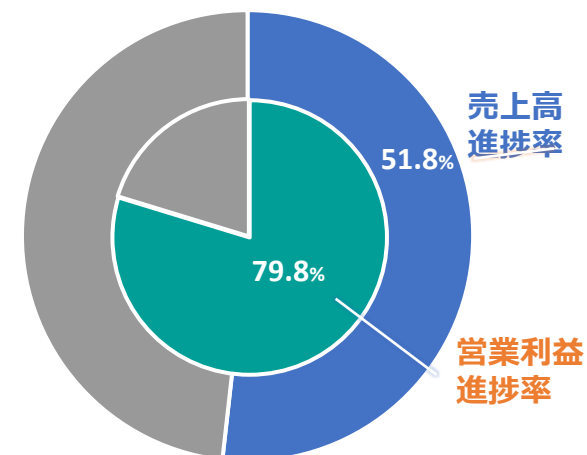
288百万円
(前期▲8百万円)

過去3期比較



進捗率（外：売上高、内：営業利益）

通期調整後売上（予）6,000百万円
調整後営業利益（予）700百万円



2026年3月期 2Q 決算総括（過去最高の売上高＆利益）

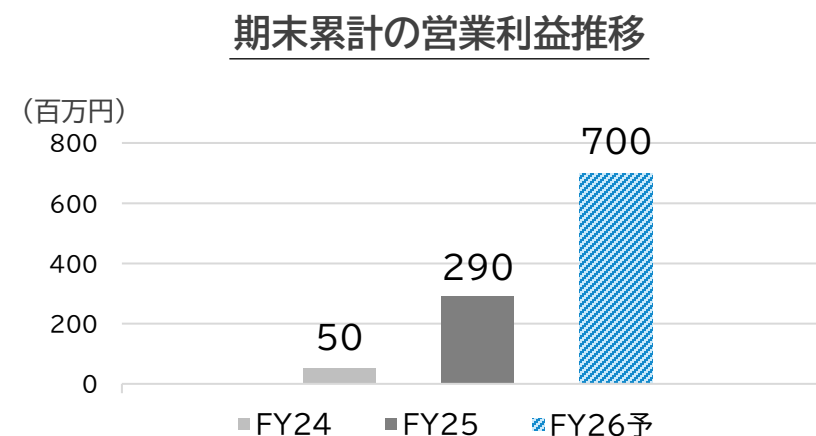
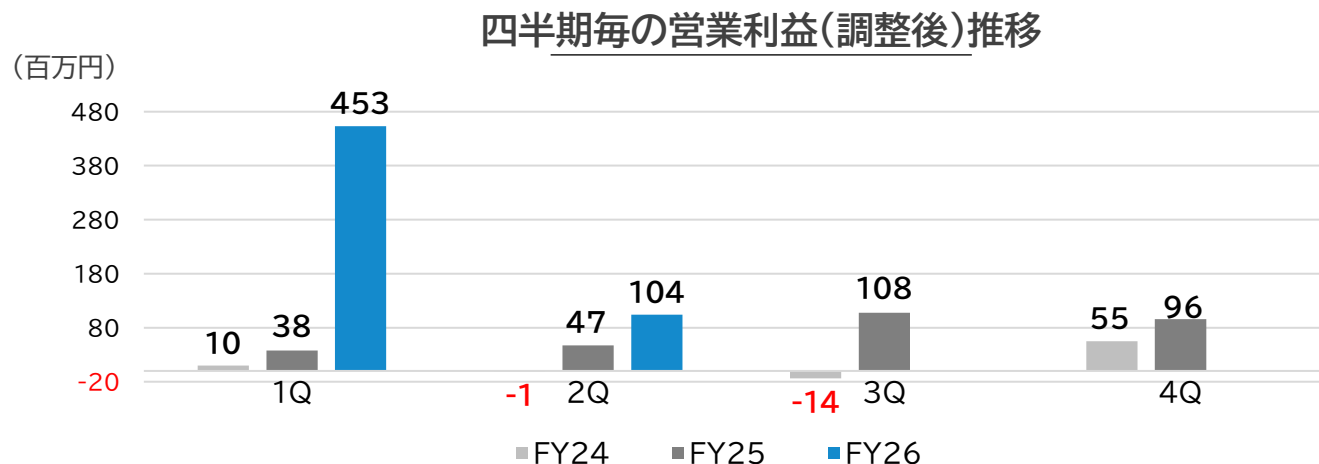
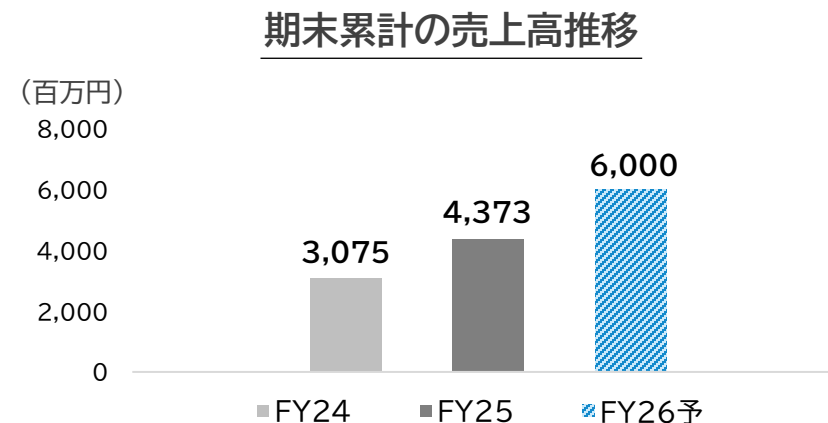
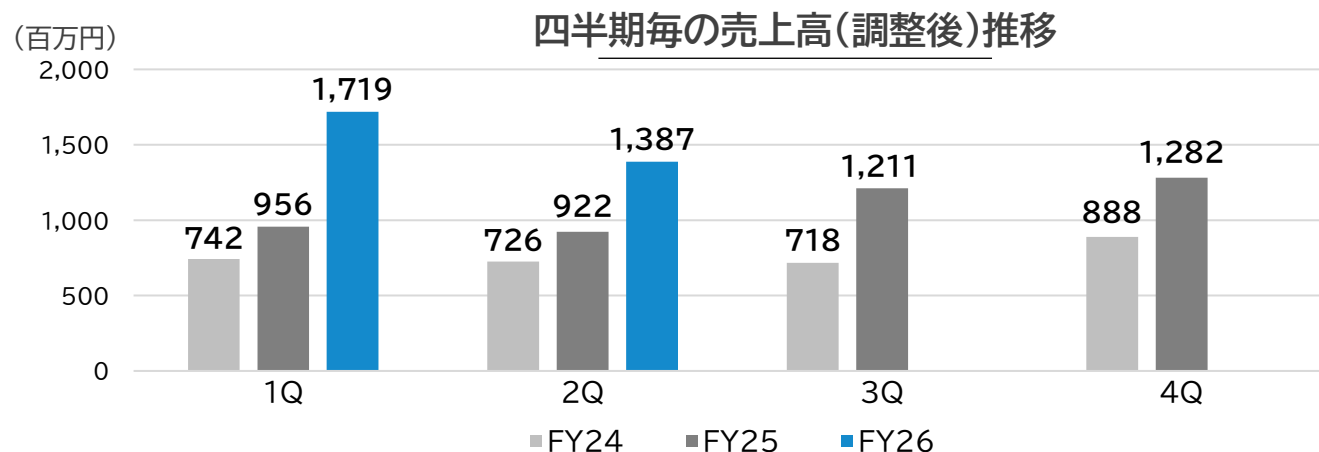
- コア事業のITツール事業、ITサービス事業の拡大に加え投資事業のキャピタルゲインも加わり、大幅な増収、増益となった。

（百万円）	2024年3月期 2Q実績	2025年 3 月期 2Q実績	2026年 3 月期 2Q実績	利益率	前年同期比率	通期予想進捗率
売上高 （今期調整後売上高）	1,468	1,879	3,107	－	+65.4%	51.8%
調整後営業利益	9	86	558	18.0%	+548.4%	79.8%
経常利益 （前/今期調整後経常利益）	▲3	63	563	18.1%	+793.8%	81.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲18	▲8	288	9.3%	-	72.1%

* 投資事業は子会社のフーバー・インベストメントの有価証券売却益となり、連結会計上は特別損益計上となるが事業実態面から調整後売上高、調整後利益に計上

2026年3月期 四半期推移

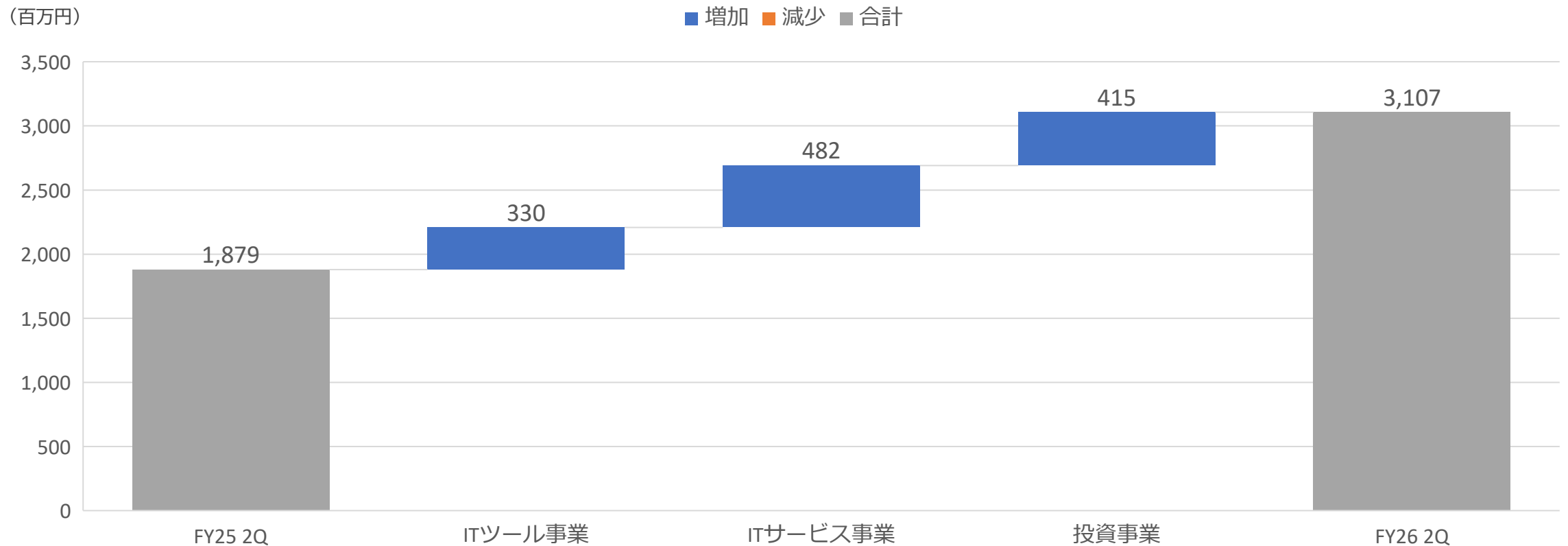
- 今2Q累計でコア事業のITツールが前期比+19.2%の増益、ITサービスが前期比56.0%の増益となり全社を牽引



2026年3月期 2Q 売上増減要因

- 調整後売上高は、前期の1,879百万円から3,107百万円と1,228百万円の大幅増収となった

調整後売上高増減（前期比+1,228百万円）

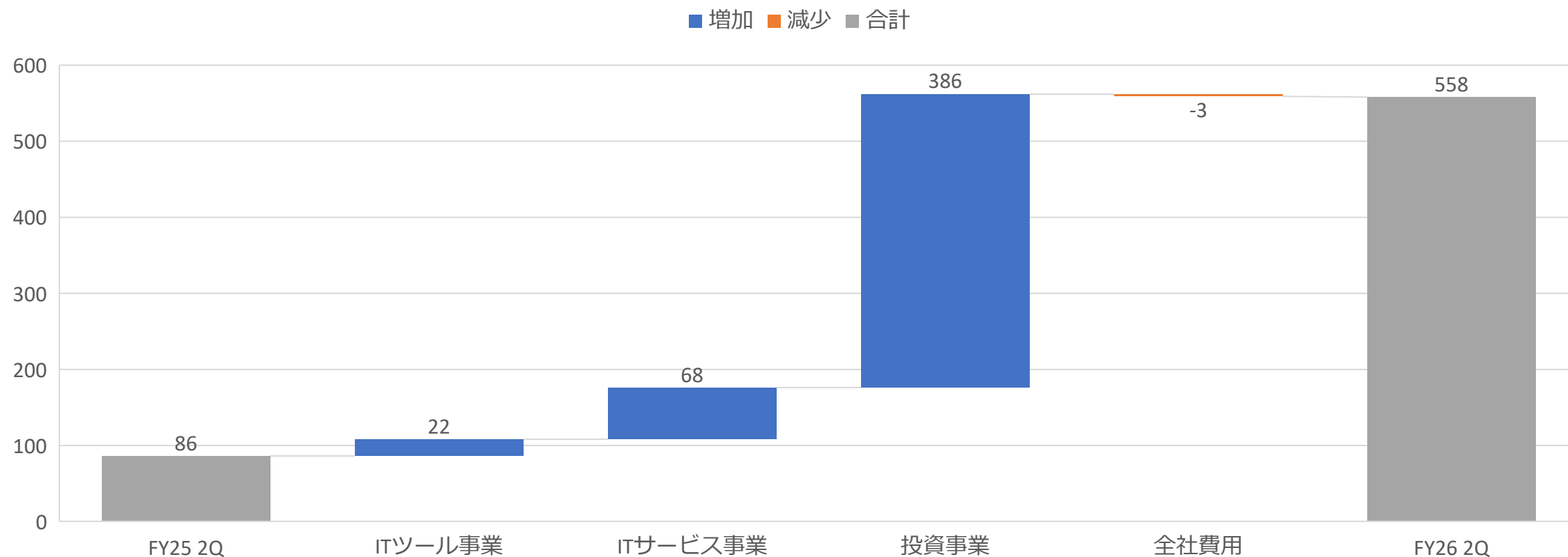


2026年3月期 2Q 調整後営業利益増減要因

- 調整後営業利益は、ITツール事業、ITサービス事業の増益に加え、投資事業の有価証券売却益385百万円が大きく寄与

調整後営業利益増減（前期比+472百万円）

（百万円）



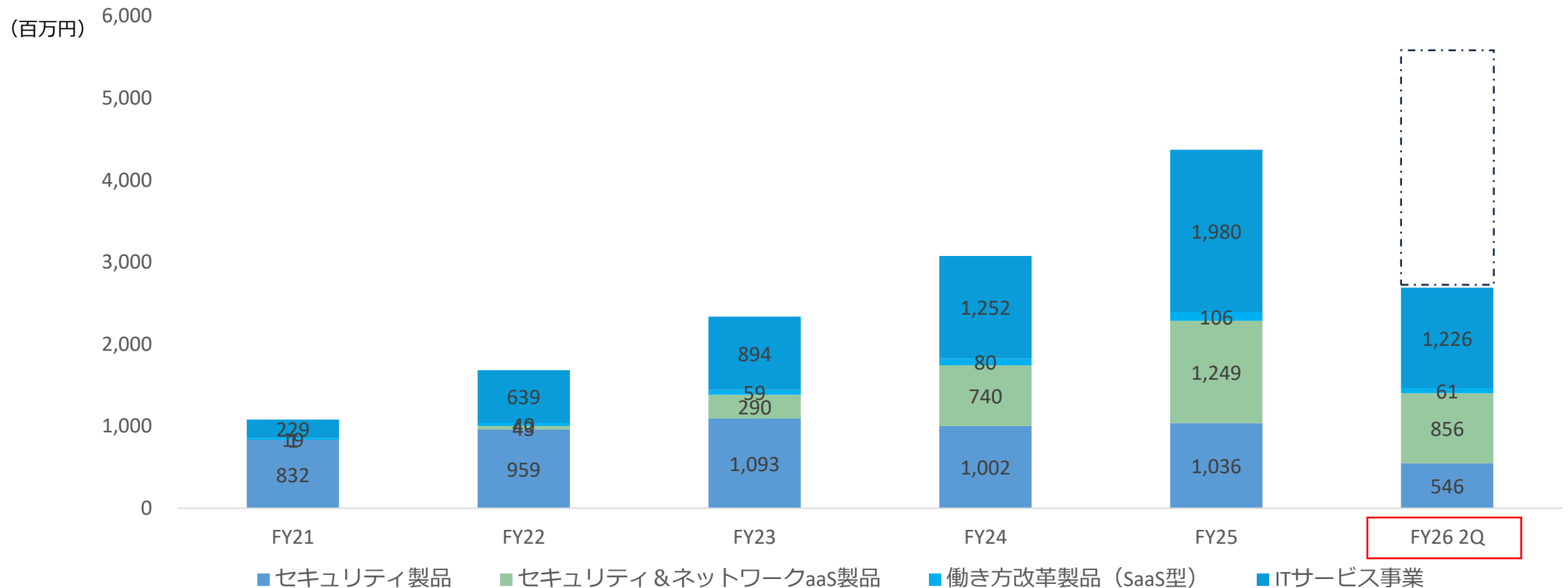
2026年3月期 2Q セグメント別

- ITツール事業は「セキュリティ & ネットワークaaS製品」のCatoが+54%と大幅に伸長、働き方改革製品（SaaS）も26%の増収
- ITサービス事業は、昨年9月～10月にM&Aにて子会社化したAsembleとイチアールが加わり、前期比で65%の伸びとなった

	2025年3月期 2Q	2026年3月期 2Q	増減額	増減率%
ITツール事業	1,134	1,465	330	29.1%
セキュリティ製品	529	546	17	3.3%
セキュリティ & ネットワークaaS製品	556	856	299	53.9%
働き方改革製品（SaaS型）	48	61	12	26.2%
ITサービス事業	744	1,226	482	64.8%
投資事業	-	415	415	-
売上高合計（2026年3月期は調整後売上高）	1,879	3,107	1,228	65.4%

主要2事業（ITツール、ITサービス）売上高推移

- セキュリティ & ネットワークaaS製品（Cato）は急成長を継続、働き方改革製品（SaaS型）も順調な伸び
- ITサービスでは、昨年下期の2社の新たな子会社化で、前期1Q比+64.8%の大幅増となった



2026年3月期 2Q 貸借対照表

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期 2Q	増減額
流動資産	3,326	3,758	+431
現預金	1,522	1,689	+166
受取手形 売掛金	475	467	△7
前払費用	1,012	1,332	+319
その他	317	269	△46
固定資産	2,277	3,367	+1,090
有形固定資産	24	121	+97
無形固定資産	544	522	△22
投資その他の資産	1,709	2,723	+1,013
総資産	5,604	7,125	+1,521
流動負債	1,830	2,507	+676
買掛金	208	161	△47
前受金	1,210	1,506	+295
その他	412	839	+428
固定負債	2,043	2,200	+156
長期借入金	275	231	△43
長期前受金	1,632	1,479	△153
その他	136	490	+354
純資産	1,729	2,417	+688
株主資本合計	1,522	1,584	+61
その他包括利益累計等	206	833	+626
負債純資産合計	5,604	7,125	+1,521
自己資本比率	27.3%	32.5%	+5.2pt

●資産の前払費用&長期前払費用、負債の前受金
&長期前受金は、長期契約のセキュリティ&
ネットワークaaS製品（Cato）の受注が堅調に
積みあがっていることを示している。

●投資事業における投資先（D社）のIPOによる
保有株式の時価評価による**有価証券評価差額金、
繰延税金資産の計上**により総資並びに負債純資産
が拡大。

●自己資本比率は、**32.5%と5.2ポイント改善**

2026年3月期 業績計画

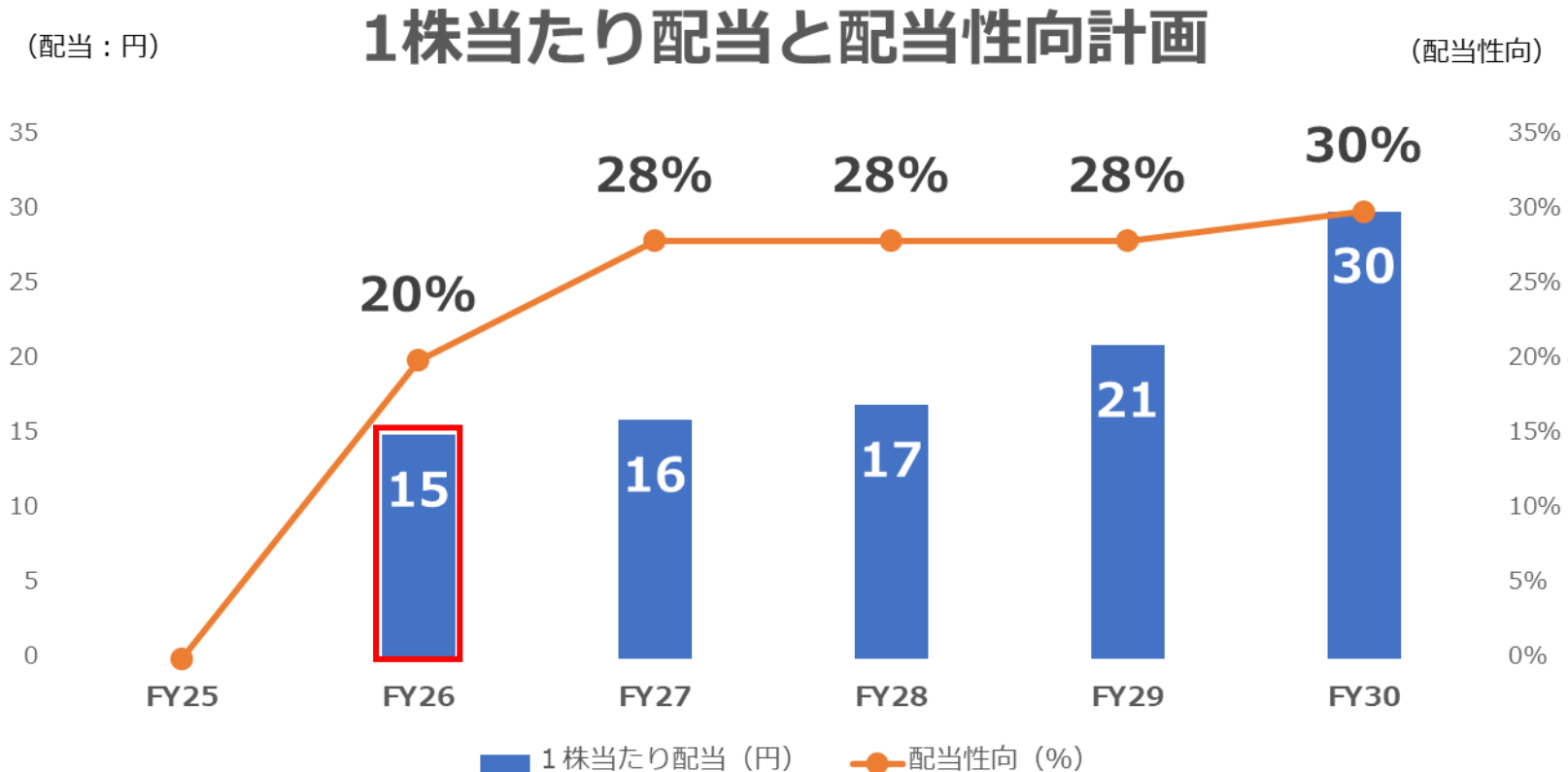
- 期初想定の通期業績予想に変更無し

(百万円)	2025年3月期 実績	2026年3月期 業績計画	利益率	前年同期比率
売上高 (今期調整後売上高)	4,373	6,000	—	+37.2%
調整後営業利益	290	700	11.7%	+140.7%
経常利益 (今期調整後経常利益)	165	695	11.6%	+158.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	109	400	6.7%	+265.4%

- 調整後売上高：すべての主要事業の営業収入を、適切に含むように調整した包括的な売上高。投資子会社フーバー・インベストメントのすべての有価証券売却活動を、営業投資有価証券売上高として売上高に含む。
- 調整後営業利益：経常的な営業キャッシュ・フローの創出能力を、適切に表すように調整。調整後売上高に基づく営業利益にM&Aにより生じた無形資産の償却費用及び取引費用、株式報酬費用、その他一時的費用等を加えて算出。当社グループが最も重視するKPI。

株主還元

- 次期中期経営計画に記載の通り、当期（FY26）より、初配15円配当実施予定（配当性向20%）
- 株主優待のQUOカードも継続（100株単位以上に1,000円のQUOカード）



- 本資料は、当社グループの業界動向及び事業内容について、現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。
- これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- 当社グループの実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- 本資料及び第24期有価証券報告書の「リスク情報」にて、当社グループの実績に影響を与えうる事項の詳細な記載をしておりますが、現時点において認識している事項であり、今後の当社業績に影響を与えうる要素は当該「リスク情報」に掲載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。
- 本資料、データの無断転載はご遠慮ください。

